

東京都電 700形 形式図

1954年から1956年にかけて製造された7000形の中で、これは最も輦数の多い1956年製 7051～73のグループ
 7000形は、それまでの都電の代表車6000形系統から面目を一新して、軽快なスタイルになったもの
 左右非対称のドア配置を、都電で本格的に量産したのはこの形式が始めてである
 初期のグループにくらべて、車体はやや固い感じのスタイル。台車はD20A
 塗装は上半が薄い青緑。下半が緑がかった濁青色で登場した

